

評価結果概要表

【評価実施概要】 作成日 平成21年12月12日

事業所番号	2773302035	評価機関名	特定非営利活動法人 近畿マネジメント・サポート・センター
法人名	株式会社 大阪ヘルスバンク	所在地	大阪市東住吉区山坂5丁目5番14-103号
事業所名	グループホーム A M G	評価調査日	平成 21 年 12 月 8 日
所在地	大阪市西成区千本北一丁目20-11 電話 06-6656-5862	評価確定日	平成 21 年 12 月 14 日

【情報提供票より】 (平成21年12月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成17年12月1日
ユニット数	1 ユニット 利用定員数 9人
職員数	8 常勤 4人 非常勤 4人 常勤換算 6, 9人

(2) 建物概要

建物の構造	単独 鉄骨造り 3階建ての2階部分
-------	----------------------

(3) 利用料金等 (介護保険自己負担分を除く)

家賃 (1月)	42,000円	その他の経費	30,000円
敷金	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ()		
保証金の有無 (入居一時金を含む)	<input checked="" type="checkbox"/> 有 250,000円	償却	有 償却 1年
食材料費	朝食	円	昼食
	夕食	円	おやつ
	または1日当たり		1,000円

(4) 利用者の概要 (21年12月現在)

利用者人数	9名	男性	7名	女性	2名
要介護1	4名	要介護2	5名		
要介護3	0名	要介護4	0名		
要介護5	0名	要支援2	0名		
年齢 平均	73才	最低	63才	最高	93歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	藤田記念病院 井戸西歯科
---------	--------------

【外部評価で確認された、この事業所の特徴】

ホームは開設後5年目です。職員9名のうち5名が開設以来の勤続者で利用者とも仲良く、笑顔の毎日を送っているが、運営者は格別、職員のスキルアップに気を配っている。又、利用者は9名中、男性7名、女性2名で、共用室は清掃が行き届き、室内の装飾は大人向けの雰囲気、季節のポスター等を掲示し雰囲気を出している

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題と、その後の取り組み、改善状況 (関連項目: 外部4)
	経営理念を入口に掲示し、運営者と管理者は職員に対し、毎月の定例会議で理念の実践について指導、検討をしている。施設の改善箇所は職員が気が付き次第に検討し、時には専門業者とも相談して複数の箇所を改善している。又、避難訓練を実施しながらマニュアルの改善を課題としている
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況 (関連項目: 外部4)
	職員と年間何回か、カンファレンスを行って、介護実績で指摘された問題点と、改善案について検討を重ねて来た、昨年の評価で取り組みを期待された項目については、この1年間で、管理者をリーダーとして職員と検討を重ね、改善している
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容、及び、それらを活かした取り組み (関連項目: 外部4, 5, 6)
	運営推進会議は出席者の日程調整に手間取り、開催が1回しか出来なかった。しかし、運営者が長年の間、地域の自治組織に関係していたので、現在でも情報等を関係者から聞き、介護の向上に役立たせている
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映 (関連項目: 外部7, 8)
	利用者にご家族と連絡がとれる方が1名程度しか居られないので、ご意見は伺えていない。しかし、利用者は毎日、共用室や散歩で気楽に過ごしておられ、又、トラブルの発生も少なく済んでいる
重点項目⑤	日常生活における地域との連携 (関連項目: 外部3)
	ホーム近隣の住民との交流は余り出来ていない印象を受けたが、建物の構造が原因かも知れません。入口がビルの他の利用者と共用で、玄関の印象が暗く、又、履き物について、靴をスリッパに履き替える必要もあり、来訪者のネックになっているのかも知れないので、検討して欲しい

（ 部分は重点項目です）

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I 理念に基づく運営					
1 理念と共有					
	1	○ 地域密着型サービスとしての理念 地域の中で、その人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	理念の「利用者一人ひとりに合わせた介護で、安心とゆとりの生活を楽しんで頂けること」を掲げている		
	2	○ 理念の共有と、日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	定例の会議で運営者、管理者は理念の実践について指導をしている		
2 地域との支えあい					
	5	○ 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等の地域活動に参加し、地域の人々と交流することに努めている	運営者は、地域の各種自治団体等の活動に幅広く交流しているが、職員、利用者と、地元との交流は散歩や出会った際のご挨拶程度となっている	○	ホームでの行事に「子供さん連れが来てくれそうな企画」を、職員と検討し案を出しては、スリッパへの履き替えが問題かも知れませんが
3 理念を実践するための制度の理解と活用					
	7	○ 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	昨年の外部評価の経験を活かして、この1年は、管理者をリーダーとして職員が問題点の検討を行っている		
	8	○ 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について、報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービスの向上に活かしている	運営推進会議は、残念ながら1回しか開催できなかった	○	運営推進会議の開催に努めて欲しい
	9	○ 市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市の福祉担当の方が来訪されるので、職員と囲んで懇談を行っている		
4 理念を実践するための体制					
	14	○ 家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び、個々にあわせた報告をしている	ご家族との連絡先は1名さんのみとなっており、問題はない		
	15	○ 運営に関する家族等の意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	連絡が取れるご家族からはご意見を管理職等へお聞きしていない		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	9 18	○ 職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	運営者、管理者は職員との話し合いを重視しており、この1年間職員の異動はなかった		

5 人材の育成と支援

	10 19	○ 職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	毎月、定例の職員の打合せと研修会を開催して、レベルアップを図っている		
	11 20	○ 同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて質を向上させていく取り組みをしている	地元の同業者の協会に加入し、相互に情報交換を行ってレベルアップを図っている		

II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1 相談から利用に至るまでの関係づくりと、その対応

	12 26	○ 馴染みながらのサービス利用 本人が安心して納得した上で、サービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	ご本人、ご家族とも納得していただけるよう、見学も含めて実施している		
--	-------	--	-----------------------------------	--	--

2 新たな関係づくりと、これまでの関係継続への支援

	13 27	○ 本人と共に過ごし、支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は、利用者の中で、出来る方と一緒にあって、片付け、掃除、炊事等を行っている		
--	-------	---	---	--	--

III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1 一人ひとりの把握

	14 33	○ 思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	職員間の申し送り事項は、洩れなく確実に実行するよう指導している		
--	-------	---	---------------------------------	--	--

2 本人がより良く暮らしを続けるための介護計画の作成と、見直し

	15 36	○ チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	毎月1回、介護計画の見直しを行って、計画変更等、状況を本人、ご家族にも説明している	○	職員の皆さん方と話し合っ、利用者の日頃の記録類を、より良い内容になるよう改善を続けて欲しい
--	-------	--	---	---	---

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
16	37	○ 現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	毎月の見直しを基に、計画変更のカンファレンスを行って作成している		

3 多機能性を活かした柔軟な支援

17	39	○ 事業所の多機能性を活かした支援 本人や、家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人、ご家族の事情に合わせて、柔軟な支援を行っている		
----	----	---	----------------------------	--	--

4 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

18	43	○ かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られた、かかりつけ医と、事業所の関係を築きながら、適切な治療を受けられるように支援している	毎週、掛かりつけ医師の往診を頂き、適切な治療を受けて頂いている		
19	47	○ 重度化や週末期に向けた方針の共有 重度化した場合や、終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびに、かかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	ホームでの看取りはしていない。本人、ご家族、医師、医療機関とも相談して対応している		

IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1 その人らしい暮らしの支援

(1) 一人ひとりの尊重

20	50	○ プライバシー確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報取り扱いをしていない	職員一人ひとりに配慮をするように指導している。記録類の保管場所は、離れた所の法人の事務所としている		
21	52	○ 日々の、その人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりの個性に合わせた生活をして頂けるよう、支援している		

(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援

22	54	○ 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	業者による高齢者メニューの食材を、職員が家庭的な味付け調理をして、楽しんで頂いている		
----	----	---	--	--	--

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	23	57	<p>○ 入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>		

(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援

	24	59	<p>○ 役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>		
	25	61	<p>○ 日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりの、その日の希望にそって戸外に出かけられるよう支援している</p>		

(4) 安心と安全を支える支援

	26	66	<p>○ 鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中、玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>		
	27	71	<p>○ 災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>		

(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援

	28	77	<p>○ 栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>		
--	----	----	---	--	--

2 その人らしい暮らしを支える生活習慣づくり

(1) 居心地のよい環境づくり

	29	81	<p>○ 居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>		
	30	83	<p>○ 居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>		